

平成 24 年度は、歴代陸軍参謀総長及び海軍軍令部長の中から毎号一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物の関連史料を紹介しています。

いのうえ よしか
《 井上 良馨 1845～1929年 》
—国産軍艦で初の欧州回航を成し遂げた提督—



清輝艦マルタよりマルセイユ迄各港寄艦略記

(登録番号：海軍省一公文原書-M11-55-198)

井上良馨元帥は、明治 4 年 5 月、海軍中尉に任官、その後、常備艦隊司令長官、海軍参謀部長、佐世保・横須賀・呉鎮守府司令長官等の要職を歴任しました。この史料は、軍艦清輝 (897 トン、明治 9 年竣工、国産) の艦長であった同元帥 (当時中佐) が、明治 11 年 1 月から明治 12 年 3 月までの間、初の欧州回航を行った際の航海略記です。イタリアのシシリー島に到着した明治 11 年 5 月 4 日の項には「シシリー島サイラキユス港ニ着艦ス・・・伊太利國中最良ノ港ナリ・・・我輩本邦ヲ去リシ以来爰ニ来テ始メテ天然ノ景ヲ樂シムヲ得タリ」と当時の航海の苦労を彷彿とさせる記述があります。



海軍参謀部長海軍少将男爵井上良馨外 1 名第 1 第 5 海軍区沿岸巡視の件 (登録番号：海軍省一公文雑輯-M24-6-107)

この史料は、海軍参謀部長 (軍令部長に相当) 当時の井上元帥 (当時少将) に対する明治 24 年 7 月 31 日付「辞令校」です。「第一第五海軍区沿岸巡視被仰付」とあり、第 1、第 5 海軍区沿岸の巡視が命じられています。巡視は同年 8 月 4 日から 9 月 30 日にかけて行われました。当時、日本の海岸及び海面は「鎮守府條例」によって 5 つの海軍区に区分されていました。各海軍区には鎮守府を置くとされ、第 1～第 4 海軍区には横須賀、呉、佐世保、舞鶴の各鎮守府が順次置かれました。第 5 海軍区には室蘭鎮守府が予定されていましたが、海軍区の変更等によって室蘭に鎮守府が置かれることはありませんでした。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない一時的に閲覧できない史料があります。
詳しくは、防研ウェブサイト「お知らせ」をご覧ください。

- ※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断引用はお断りします。
防衛研究所企画部企画調整課
専用線：8-67-6522、6588 (史料紹介コーナーのみ6668)
外線：03-3713-5912
FAX：03-3713-6149 E-mail：nidsnews@nids.go.jp
- ※ 防衛研究所ウェブサイト：<http://www.nids.go.jp>